

天塩町1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

GIGAスクール構想（1人1台端末、通信ネットワーク等の学校ICT環境整備・活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など教育の質の向上する構想）のもと、第7期天塩町総合振興計画では「1人1台端末を有効的に活用し、公正に最適化された教育の提供により、多様な子どもたちの学びにつなげていく、ICT教育の推進」を掲げている。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、ねらいが明確で達成された授業、子供が主体的に取り組む授業により、教育の充実を目指す。

2 GIGA第1期の総括

町内小中学校における1人1台端末は、全248台をタブレット（OS Windows）で、令和2年度に整備した。このうち、天塩小学校及び天塩中学校の全227台は国の公立学校情報通信機器整備事業を活用し、啓徳小学校の全21台は町一般財源により整備している。

また同年、天塩小学校及び天塩中学校、翌年令和3年啓徳小学校の校内通信ネットワークの環境整備工事を行い、令和3年度から各授業で使用している。

しかしながら、端末の起動の遅さや不安定さがあり、端末のスペックの問題かネットワーク環境か判断しづらい問題が授業の妨げになっているとの報告がある。

端末の持ち帰りについては、児童生徒の使用法の課題や不安、各小中学校の要望などからフィルタリングソフトの導入し、端末の持ち帰りを行っている。

3 1人1台端末の利活用方策

国のGIGAスクール構想の「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現」を目指し、引続き端末の更新及びネットワーク環境の改善を行っていく。

1人1台端末を児童生徒が「文房具の1つとして」活用することを目指す。

そのためには、児童生徒が自分で調べる場面や自分の考えをまとめ、発表・表現する場面など、日常的に利活用する。

また、希望する不登校児童生徒への支援や端末を活用した教育相談など学びの保障の場面でも利活用していく。

教育DXに係る当面のKPIでは、具体的な指標、100%達成の目標年度が示され、1人1台端末の積極的活用、個別最適・協働的な学びの充実、学びの保障の項目におけるKPIについて実践していく。